

# す

～お迎えしましょう もう一つの日本 山形へ～

## まいる山形暮らしシンポジウム



主催：山形県



### 開催趣旨

県では、2007年から大量退職を迎える首都圏の団塊世代を始めとし、山形県で活躍していただける方や山形県で楽しみたい方、山形県に愛着を持ちの方にお出でいただくことは、新しい交流や消費が生まれ、地域や経済の活性化につながるものと考えています。

今回のシンポジウムをきっかけとしまして、県と県内市町村、そして地域の皆さんと一緒に、県外の方を迎える受け入れ体制の充実・拡大について考えていきたいと思っています。



日時 / 平成18年11月27日(月) 10時～15時

場所 / 山形県庁講堂(2F) 山形市松波2丁目8番1号



### プログラム

10:00 - 12:00

#### 【第1部】『すまいる山形暮らし』県・市町村連絡会議

##### 1 『すまいる山形暮らし』県・市町村連絡会議』の設立について

山形県総務部改革推進室政策企画課

##### 2 記念講演 『『都会』と『地域』が会えるとき！～『宝』は『他から』やってくる』

特定非営利活動法人 <sup>ゆい</sup>結まーるプラス(鳥根県江津市)

理事長 かわべまゆみ氏

13:00 - 15:00

#### 【第2部】市町村滞在モデルプランの発表

##### 1 モデルプランの発表

西川町 / 朝日町 / 金山町 / 最上町 / 飯豊町 / 鶴岡市

##### 2 滞在プラン創出のための助言と提案

助言者

社会・産業インテグレーター、前 野村総合研究所理事

たま だ たつる  
玉 田 樹 氏

毎日新聞社編集局 人口問題調査会事務局委員

なめしだ たかし  
滑志田 隆 氏

お申し込み・お問い合わせ 山形県 総務部 改革推進室 政策企画課 (担当: 安藤・下山)

TEL: 023-630-3083 FAX: 023-630-3082

参加ご希望の方は11月24日(金)17:00まで裏面申込書によりお申し込み下さるようお願いいたします。



## 講演者・助言者プロフィール

### 記念講演

かわべまゆみ 氏 NPO法人「結まーるプラス」理事長

大分県出身。マーケティング・プランナー。平成11年5月、夫の実家である島根県邑智郡桜江町(現 江津市桜江町)に東京より1ターン。以来、島根県石見地方に惚れ込み、地域資源を活用した体験交流事業、田舎暮らしツアーなど過疎地のまちづくりに積極的に取り組んでいる。また、国土交通省の地域振興アドバイザー等の活動を通じ、全国各地の地域活性化や特産品開発のアドバイス、プランニング活動も行っている。

### 市町村モデルプラン発表会(助言者)

たまだ たつる  
玉田 樹 氏 社会・産業インテグレーション・ラボ主宰

青森県出身。前(株)野村総合研究所理事。産業論、社会システム論を専門にし、多くの行政機関等の委員に就任。平成17年度から山形県多様なライフスタイルの展開に向けた検討会アドバイザーとして助言をいただいている。平成18年3月野村総合研究所を退社後は社会・産業インテグレーターとして活躍。主な著書に「兼業・兼居のすすめ」(東洋経済新報社)などがある。

なめしだ たかし  
滑志田 隆 氏 毎日新聞記者(編集局人口問題調査会事務局委員)/元山形支局長

神奈川県出身。毎日新聞社で環境問題などの特集紙面などを担当し、現在世界の人口、環境、食糧問題を研究中。平成11年4月から平成13年9月まで山形支局長に就任。その際山形への想いを込めたエッセー集「風だより山形路」を自費出版。平成17年度から山形県多様なライフスタイルの展開に向けた検討会アドバイザーとして助言をいただいている。氏は定年後、山形に住みたいと思っているとのこと。

FAX:023-630-3082 山形県政策企画課 安藤・下山 行き

### F A X 申 込 書

ふりがな 氏名	
所 属 (企業や団体の方のみ)	
ご 連 絡 先	住 所 〒 県          市・町・村
	電 話
	メールアドレス
参加プログラム	【第1部】『すまいる山形暮らし』県・市町村連絡会議 【第2部】市町村滞在モデルプランの発表 (参加されるところにレをつけて下さい。)

お知らせいただいた連絡先は、本シンポジウム開催に関する管理資料作成以外には使用いたしません。



アナウンス:「すまいる山形暮らし情報館」で団塊世代に向けた山形暮らしに関する情報を提供しております。このシンポジウムのご案内も新着情報でご覧いただけます。( <http://www.pref.yamagata.jp/yilife/> )